

地域連携共同研究所「食育で育む管理栄養士の専門性」プロジェクト

新座市「親子 DE ミニウォーキング&スタンプラリー」に

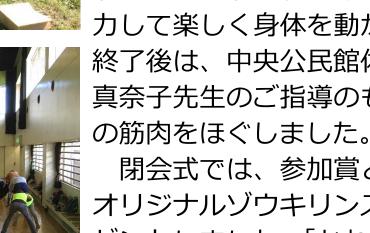
健康栄養学科の学生がボランティア参加

参加賞のゾウキリンストラップ作りやスタンプラリーのクイズ出題、コース誘導などで大活躍!!

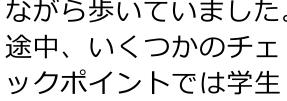
平成28年11月12日(土)、昨年に引き続き新座市保 健センターの主催で開催された「親子DEミニウォーキ ング&スタンプラリー」イベントに、健康栄養学科2 年生9人がボアンティア参加し、ウォーキングコース を参加者と一緒に歩きながら、クイズの出題や参加者 の誘導を行いました。

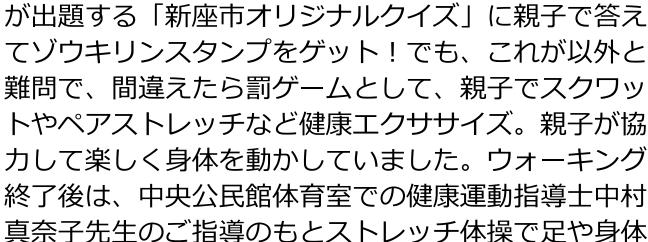
昨年は雨模様でウォーキングコースの半分しか歩 けませんでしたが、今年は朝から雲一つない好天に恵 まれ、紅葉が始まった黒目川沿いの約3kmのコースを 18組の親子がゆっくりと歩きました。この日を楽しみ に集まった子どもたちは、日頃忙しいお父さん、お母 さんと一緒におしゃべりをしたり、新座の自然に触れ





ながら歩いていました。 途中、いくつかのチェ ックポイントでは学生





閉会式では、参加賞として、子どもたち全員に新座 オリジナルゾウキリンストラップ(プラバン)をプレ ゼントしました。「かわいい!」という歓声が上がり、 大好評でした。このストラップは、学生たちが 25 枚

を事前に手作りしたもので、プラバンにゾウキリンの絵を描き、オー ブントースターで焼くと、写真のような大きさにみるみる縮んでいき ます。ゾウキリンの色塗りに苦労しましたが、少ない授業の空き時間 にみんなでがんばって作成しました。また二アピン賞では、4 名の子 どもたちに学生からプラスちゃんのマスコットストラップが渡されま







した。もらった子どもたちの中には「私、十文字女子大に行く!」と言ってくれた女 の子もいました。頼もしい限りです。

最後は、学生が自然に形をつくった花道で参加者をお見送りしました。充実した時間はあっという間に過ぎました。参加者からは「親子で楽しく参加できた、お手伝いの学生さんありがとう、来年もまた参加したい」など声がありました。

健康運動指導士資格など運動系の資格取得を目指す学生には、このような運動イベントの運営のお手伝いや、中村先生の指導方法などを直接目にすることができ、大変貴重な体験となりました。



参加した学生からは、「楽しかった」、「参加者に喜んでもらってよかった」という感想だけでなく、参加親子の立場になってのコメントやイベント運営に関する意見なども見受けられ、このような視点が持てることは、今後学生が各方面で社会的活動をするうえで大変役立つことと考えます。





【学生の感想】

- 1. 今年は、天候に恵まれて全てのルートを回ることが出来たので、親子とも大変楽しそうに歩いているのが印象的でした。雨上がりでところどころ道がぬかるんでいたので、子供たちには歩きやすいところを誘導しながら歩いてもらいました。ゾウキリンとプラスちゃんは大変好評でした。次のイベントにも、また参加したいです。
- 2. 昨年は雨だったこともありウォーキングできませんでしたが、今年は晴天で外で身体を動かすことができたので良かったです。健康運動指導士の中村先生による準備体操やクーリングダウンがとても勉強になりました。スタンプラリーのチェックポイントをもっと増やすとより楽しくなると思いました。
- 3. 今年のウォークラリーは晴天で、参加者の皆さんとても喜んでもらえたので良かったです。昨年の経験を生かして、今年は昨年より自分なりにテキパキとスムーズに動くことができたのでとても良かったと思います。昨年は雨でしたので室内での運動が多く、それぞれの親子同士で触れ合う時間があり、参加者の皆さんの距離が縮まった感じがして、それはそれで良かったと思いました。せっかく多くの親子の方が集まって楽しい時間を過ごしてもらうイベントなので、今後は参加者全体でもっと親しく、仲良くなり、1人でも多くの友達が作れるような雰囲気づくりのお手伝いができればいいと思いました。

プロジェクトメンバー:食物栄養学科 井上久美子、岩本珠美、長澤伸江、健康栄養学科 木村靖子